

港のたより

Letter of Port

Vol. 150

2025.12.10

一般社団法人 寒地港湾空港技術研究センター

COLD REGIONS AIR & SEA PORTS ENGINEERING RESEARCH CENTER



函館港(写真提供:北海道開発局)

Contents

みなとの

ニュース

シリーズ企画『北のみなとリレートーク』 第3回	2
根室港花咲港区屋根付き岸壁供用式典を開催	7
離島・沿岸をつなぐ「命のみなとネットワーク」～天売島で海上輸送訓練を実施～	8
クルーズ船「飛鳥Ⅲ」が函館港へ初寄港しました	9
Sea 級グルメ in あおもり 北海道のみなとオアシスが準優勝!	10
第23回(令和7年度)全国漁港漁場整備技術研究発表会について	12
第3号ふ頭及び周辺地区のにぎわい創出と小樽港観光船ターミナルの完成について	13
「7Airports Fes 2025」,「空の日まつり2025」北海道7空港での開催	15
「海の日」海事関係功労者大臣表彰 北海道開発局関係では1名・1団体が受賞	16
長年にわたる活動ありがとうございます	
～港湾空港関係功労者表彰及び海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰～	17
会員の表彰について	18
センター通信	
理事長就任ご挨拶	19
令和7年度 寒地港湾空港技術研究センター技術講習会の開催について	19
令和7年度 北海道開発局優良工事等表彰を受賞	21
編集後記	22

みなとのニュース

シリーズ企画

『北のみなとリレートーク』



..... 第3回

—企画の主旨・目的

女性技術者の活躍に光をあてて—港湾業界の未来を担う存在

現在、港湾等の業界では、我が国の生産年齢人口の減少や若年層の理系離れにより、技術者の確保が喫緊の課題となっています。さらに、働き方改革やワーク・ライフ・バランスの向上に向けた取り組みも求められており、職場環境の改善は業界全体にとって重要なテーマです。

このような状況下で、将来を担う若手技術者、そして女性技術者の存在はますます重要性を増しています。彼ら・彼女らの活躍を紹介することは、技術者の確保のみならず、職場の魅力を高める参考にもなると考えています。

そこで本誌では、特に人数に限られる女性技術者に焦点を当て、職場での活躍ぶりやワーク・ライフ・バランスの取り組みについて、インタビュー形式で紹介いたします。

—出席者

奥野 恵 様

所属：日本データーサービス
株式会社水工第Ⅰ部



プロフィール：2004年3月 弘前大学農学生命科学部を卒業し、2007年4月 日本データーサービス(株)入社し営業部に配属。2009年5月～2012年4月 寒地港湾技術研究センター(当時)に出向し、2012年5月 水工第Ⅰ部に配属となり、主に積算業務に従事されています。

坪井百花 様

所属：北海道開発局農業水産部
水産課建設係



プロフィール：2018年3月函館工業高等学校を卒業し、4月北海道開発局に入局。函館港湾事務所、苫小牧港湾事務所、本局開発調整課の勤務を経たのち、2025年から本局農業水産部水産課に勤務し、現在は、全道の漁港の事業実施を担当されています。

—インタビュアー

(CPC 広報委員会委員。五十音順)

大畠 嘉織さん：(株)アルファ水工コンサルタンツ

神山 千佳さん：五洋建設(株)札幌支店

なお、インタビュアー(聞き手)は、当センター広報委員を務める女性委員が担当し、同じ女性技術者の視点から温かく、等身大の声を届けます。



～自己紹介

奥野 2009年から2012年までの間、寒地センターに出向しておりました。初年度には大畠さんとお会いし、大変お世話になりましたので、本日こうして再びお目にかかることができ、大変嬉しく思っております。再会を心より楽しみにしておりました。

その後、日本データーサービス(株)に復帰し、水工第Ⅰ部に配属され、以来ほぼ一貫して積算業務に従事しております。

坪井 入局後、函館で2年間、苫小牧で3年間勤務し、札幌の開発調整課に2年間在籍しました。

開発調整課は港湾や土木とは異なる分野の部署でしたが、今年4月より港湾部門に戻り、水産課に配属されております。現在、入局8年目となりますが、まだ経験が浅く、日々勉強の毎日です。

～8年間でさまざまな部署を 経験されているんですね

坪井 はい、2～3年ごとに異動しており、業務を覚えて頃に次の新しい仕事にチャレンジします。上司も変わりますし、周囲の方々も変わります。さまざまな人と出会えることも、良いところと感じています。

～土木を選んだきっかけは

坪井 中学校では部活動に打ち込む毎日で、志望校を悩み、なんとなく土木科を選びました。

そんな流れで、気づけば今の職場に辿り着きました。

奥野 大学卒業までに測量士の資格を取得したいと思い、その学科を選びました。

学科では1年間、測量学を学び、夏休みに国土交通省等で約2週間の実習を行いました。私は近畿農政局に配属され、琵琶湖周辺で測量実習をしました。2週間びっしりと現場で測量を経験し、この実習を終えることで測量士補の資格が取得できる仕組みでした。

坪井 私も高校時代に実習がありました。函館の五稜郭公園で、皆で機材を担いで測量実習に出かけたことをよく覚えています。現場での作業は新鮮で、楽しい思い出でした。

～坪井さんの就職活動は

坪井 先生から「開発局という選択肢もあるよ」と教えていただき、受けてみようかなという気持ちで挑戦しました。公務員という職業は、学校ではあまり詳しく紹介される機会がなかったため、当時は情報も少なく、漠然とした印象でした。

しっかりと準備しないと合格が難しい厳しい試験だという認識でした。受験のときはとても緊張していて、「絶対に落ちたくない」というプレッシャーがありました。もし落ちてしまったら、いわゆる“浪人”のような形になってしまうかもしれない…そんな不安もありましたが、無事に合格できて本当にホッとしました。

～坪井さんの今までのお仕事の内容は

坪井 函館港湾事務所では、2年間港湾工事を担当

しました。

その後、苫小牧に異動し、調査・設計等の業務に3年間従事しました。

その後、本局開発調整課に配属となり、開発局の技術部門を横断的につなぐ窓口業務を担当しました。

各部署から相談を受けて調整・連携を図る役割を担いました。

特に開発調整課に配属された当初は、これまで担当してきた港湾や土木の業務とは大きく異なり、未知の分野に取り組むような感覚で、戸惑いもありました。

例えば「2024年問題」として代表的なトラック輸送の課題など、物流分野の改善に関する業務もこの課で扱っております。

～海に関わる仕事に、 興味を持っていたのですか

坪井 高校生の頃は、現場実習で訪れる場所の多くがトンネル工事現場で、港湾の仕事についてはあまり理解していませんでした。地元が函館ということもあり、港には関心がありましたが、当時は具体的なイメージを持てていなかったように思います。

そのような時に、開発局の業務説明会に参加し、港湾分野に興味を持つようになりました。もともと海のある地域で育ったこともあり、港湾の仕事に魅力を感じ、志望するきっかけとなりました。

～奥野さんの今までのお仕事の内容は

奥野 最初はアルバイトとして、日本データサービス㈱の環境技術部に配属され、約1年勤務した後に営業部に配属されました。

特に寒地港湾空港技術研究センターに在籍していた頃は出張の機会が多く、各地の港を訪れることができました。さまざまな現場を見て学ぶことができ、大変有意義で楽しい経験でした。

そのため、現在も外に出て現場に関わりたいという思いはあるのですが、出張を伴う仕事と育児との両立が自分には難しいと感じています。

今までは育児のため時短勤務でしたが、今年4月からはフルタイム勤務となり、慌ただしい毎日を過ごしています。子どもは8歳と3歳。育児と仕事の両立に奮闘する日々ですが、周囲の

支えもあり、なんとか頑張っています。

～ご主人と交代でお子さんの 送り迎えをされているのですか

奥野 昨年度までは私が2時間早く退勤していたため、子どもの送り迎えはすべて私が担当していました。

しかし、今年4月からは私一人では対応が難しくなり、夫と分担するようになりました。現在は、私が小学校へ、夫が保育園へと、1人ずつ迎えに行く形をとっています。今は交代で子どもを連れて帰るスタイルに変わり、家庭内でも協力しながら日々の生活を支えています。

～印象に残っている仕事は

奥野 現在、積算業務を担当しています。

一見「当然のこと」と思われるかもしれませんが、低入札とならず無事に受注できたときには、心から嬉しく、大きな達成感を覚えます。

もちろん、受注には技術提案の内容が高く評価されていることが前提ですが、もし積算でミスをして低入札となれば、すべてが水の泡となってしまいます。

だからこそ、積算には細心の注意を払い、常に慎重に取り組むよう心がけています。

坪井 函館や苫小牧の事務所に勤務していた頃は、工事や業務の設計書作成などを担当していました。

特に函館にいた時期には、消費税率が5%から8%へと変更されるタイミングと重なり、積算業務においてその影響を実感しました。当初5%で積算し「予算は問題ない」と思っていたのですが、開札が近づくにつれ周囲から「税率が変わりますが、大丈夫？」と確認されました。そこで改めて8%で計算し直したところ、予算をオーバーしてしまい、非常に焦った記憶があります。幸い開札前だったため調整は可能でしたが、「もしこのまま進んでいたら…」と冷や汗をかいた出来事でした。

～これまでのお仕事の中で、 特に嬉しかった瞬間は

坪井 ちょうど昨日、函館へ出張し、私が以前担当していた工事現場を訪れました。



座談会の様子

当時は「前出し改良」の工事を担当していましたが、延長の一部しか進んでいない段階で異動となったため、完成した姿を見ることができませんでした。

今回現場を訪れると、施設に船も着岸しており、「ついに完成したんだ」と実感しました。嬉しさが込み上げ、思わずたくさん写真を撮ってしまいました。

～これまでに転職や退職を意識されたことは

坪井 転職を考えたことがまったくないわけではありません。

これまで函館や苫小牧など、港湾関連の業務に携わってきましたが、港湾の場合は利用者と直接話す機会がほとんどありません。漁港であれば、漁業関係者など利用者と接する場面もあると思いますが、港湾はそういった交流が少なく、やりがいを感じにくいと思ったこともありました。それでも、気づけば今もこの仕事を続けています。「何が楽しいのか」と聞かれると正直うまく答えられませんし、「なぜ続けているのか」と問われても、うーん…と考え込んでしまいます。それでも、続いている、それが今の自分の実感です。

奥野 どうか仕事を続けてられています。

特に子どもが生まれてからは、会社の理解がとてもあることに心から感謝しています。その分、少しずつ恩返しをしていかなければと感じています。

本来、時短勤務は子どもが3歳の誕生日までと社内で決められているのですが、下の子が生まれたこともあり、特別に2～3年延長していただきました。結果的に、約7年間時短勤務を続

けさせてもらいました。



～男性の育児休業について

奥野 この5年ほどで、育児に対する職場の意識は大きく変わったと感じています。1人目の子どもが生まれた頃と、2人目のときでは、環境も周囲の反応もまったく違いました。男性が育児休業を取得することが当たり前になりつつあり、出産後1か月ほど取得するケースも珍しくありません。

そうした変化は、育児に対する理解が進んできた証だと思えますし、会社側の認定取得にも繋がり、結果的に育児に関わる時間が増えるので良いことだと感じています。



～職場の中で、女性同士の交流の場などがありますか

坪井 開発局内では、技術職の女性職員が集まる交流の場があります。年に1～2回程度の開催ですが、現場見学や意見交換会などを通じて、業務に関する情報共有や交流を図っています。

開催内容は開発建設部によって異なりますが、主に現場見学と意見交換が中心です。時間は半日程度と限られていますが、同じ技術職としての悩みや経験を共有できる貴重な機会となっています。



～これからの仕事や今後の目標について

坪井 今のところ明確な目標はなく、何となく日々を過ごしているような感覚ですが、これまで経験したことのない業務に挑戦してみたいという気持ちがあります。

現在は、工事や積算、設計調査などの業務に携わっていますが、予算関連の業務にはあまり関わったことがありません。今後は少しずつ取り組んでみたいと思っています。

自然体で、自分らしく仕事を続けていけたらいいなと感じています。

奥野 日々の業務に追われることが多く、目標や「やってみたい仕事」について、じっくり考える余裕がなかなか持てないのが正直なところです。技術提案書の作成は、皆が一生懸命取り組んでいます。寝る間も惜しんでいる様子を見てい

るので、絶対に自分が足を引っ張るわけにはいきません。価格が少し高くて案件を取れないのであればまだ納得できますが、低入札でミスしてしまうと、これまでの提案書作成の努力がすべて無駄になってしまいます。

そのようなことが起きないように、二度と繰り返さないという強い気持ちで取り組んでいます。そのために、しっかりと知識を身につけ、必要な勉強を重ねていきたいと考えています。



～仕事以外の新しいチャレンジ

坪井 一度、釣りをしてみたいと思ったことがあるのですが、どうしても餌に触るのが苦手で…。軍手では対応できないと思い、しっかりと水を通さないゴム手袋などで完全防備しないと無理だなと感じました。

餌のぷにぷにした感触を想像するだけで、少し抵抗がありますが、釣りにはちょっと興味があります。

奥野 実際にやってみると、釣りはなかなか大変でした。

餌を針に刺す作業がどうしても苦手で、気持ち悪さに思わず逃げ出したくなるほど。

一人で「無理!」と叫びながらも、同行者に「やってみて」と言われて、渋々「はい…」と返事をして挑戦しました。結局その日は魚が釣れず、苦労だけが残った釣行となりましたが、今ではちょっとした笑い話です。



～入札業務が一段落したら

奥野 開発局の入札は、毎年7月～8月頃に一段落します。その後は、市町村などの案件が少しずつ出てくるため、それらの対応に取り組みます。

また、開発局から公表される内訳書を確認し、いわば“間違い探し”のような作業も行います。「この項目が3円違うのはなぜだろう?」といった細かな点を検証しながら、翌年度の入札に向けた準備を進めています。

そして、次の入札時期が近づいてくると、「もう次の年が始まるのか」と毎年のサイクルを実感しながら、また新たな業務に向き合っています。

工期末には設計変更が発生することもあり、業務が立て込む時期です。

さらに、今年から旅費制度が変更されたこともあり、「どう対応すべきか」と社内でも話題になっています。制度の変更に伴う実務への影響が大きく、現場では戸惑いの声も上がっており、今後の対応方法について検討を重ねているところ です。

～リクルート活動について

坪井 苫小牧港湾事務所に配属されていた時に苫小牧高専を訪問する機会がありました。また、インターンシップ生が来所した際には、他事務所のインターンシップ生との意見交換会を実施することもありました。

開発調整課に所属していた時は、採用活動も担当し学生向けの業務説明会を行いました。道内各地はもちろん、本州の大学でも説明会を開催しています。

最近では、X(旧 Twitter)などの SNS を活用して、業務説明会の開催情報などを積極的に発信しているようです。若い世代はホームページよりも Instagram や TikTok などの SNS を通じて情報を得る傾向が強く、そうした流れを受けて、Instagram の運用も一昨年頃から始めました。その効果もあり、関心を持ってくれる方が増えてきたように感じています。

～長時間にわたり、さまざまなお話をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。
皆さまのおかげで、非常に有意義な座談会となりましたこと、心より感謝申し上げます。

—インタビューからひとこと

大島委員：

おかげさまで、リレートークも第3回を迎えることができました。

今回は、お母さんとして子育てをしながら働く奥野さんと、高校卒業後すぐにこの世界に飛び込んだ坪井さんをゲストにお迎えしました。

お二人のお話を伺い、私が入社した頃と比べて、女性がより働きやすい職場環境になってきていることを実感し、嬉しく思いました。

誰もがいきいきと働ける職場づくりが、この業界の未来につながっていく——そう感じた時間でした。

本日はありがとうございました。

神山委員：

第3回リレートークは、仕事も家庭もフル活動の奥野さんと、ひよんな御縁で、港湾土木の仕事に携わっている坪井さんのお二人にお話を伺いました。

過去(第1回・第2回)とは、違ったお話を聞けて、しかしながら、とても前向きに取り組む姿勢は、皆様共通で、「志は一緒だな」と実感しました。

女性技術者故の強みや価値を活かし、誰もが働きやすい環境を整備する動きを発信していきましょう！

本日はどうもありがとうございました。



前列左から奥野さん、坪井さん 後列左から大島さん、神山さん

—編集後記

約2時間にわたる座談会でしたが、出席者とインタビューの間に会話が途切れることなく、多彩な話題で盛り上がりました。

紙幅の都合によりすべてをご紹介することはできませんが、若手職員の仕事への向き合い方や、企業・官庁における取り組みなど、非常に参考になる内容が多く含まれていました。

ご出席いただいた奥野さん、坪井さん、そして広報委員のお二人に心より感謝申し上げます。

次回の「北のみなとりリレートーク」も、どうぞご期待ください。

根室港花咲港区屋根付き岸壁供用式典を開催

北海道開発局 釧路開発建設部

根室市と釧路開発建設部は、令和7年10月4日(土)根室市総合文化会館を会場として、「根室港花咲港区屋根付き岸壁 供用式典」を開催しました。当日は、北海道選出の国会議員をはじめ関係者約70人の出席のもと、石垣根室市長、畑山釧路開発建設部長の式辞で始まり、森橋大臣官房技術参事官の挨拶、鈴木貴子衆議院議員、篠田奈保子衆議院議員、伊東良孝衆議院議員、鈴木宗男参議院議員、長谷川岳参議院議員、佐藤英道衆議院議員からの来賓祝辞(代読、ビデオメッセージ含む)、祝電披露、事業概要報告、大坂根室漁業協同組合代表理事組合長からの利用者代表挨拶が行われました。その後、式典会場での「テープカット」と根室港花咲港区屋根付き岸壁における地元小学生による「くす玉開披」を同時に行い、屋根付き岸壁の現地状況を映像配信し、盛会のうちに式典を終えることが出来ました。

当該施設は、北海道内6港湾管理者により策定された農水産物輸出促進計画に基づき整備を進め、-5.5m岸壁191m及び-6.0m岸壁130mの岸壁延長に屋根施設全3棟(1棟75m)が令和7年8月に完成を迎える事ができました。

当施設は、建設から50年以上経過しており、本体工

の劣化やエプロン舗装の段差・クラックが発生し、老朽化が著しい状況にあり、荷役作業に支障を来していました。また、鳥や日射等による水産物の品質低下といった課題がありました。こうした中、屋根付き岸壁が供用されたことにより、水産物の品質確保に加え、岸壁の拡幅により、効率的かつ安全な荷役作業に寄与するとともに、雨・風・雪を防ぐことで、施設利用者の就労環境の改善が図られたところです。

根室港花咲港区は、サンマの水揚げ拠点として利用されており、水揚量15年連続日本一、水揚額27年連続日本一を誇り、全国総生産量のうち、5割以上が水揚げされており、ここ数年、水揚量が低迷していましたが、本年は魚体も良く、漁も好調に推移しているところです。今後、サンマを中心とした高品質で安全な水産物の確保により、市や漁業関係者で構成される根室市アジア圏輸出促進協議会を通じ、より一層の販路拡大に繋がるものと期待しております。第9期北海道総合開発計画に掲げる食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展のため、官民の垣根を越えた「共創」を更に推進してまいります。



石垣市長の式辞



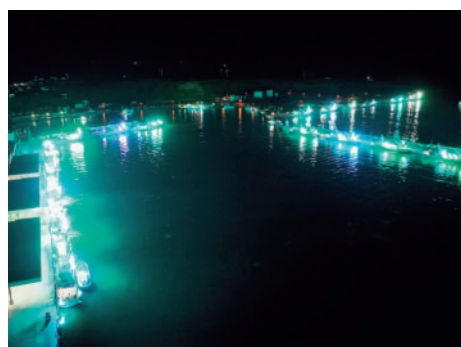
鈴木貴子衆議院議員からのビデオメッセージ



テープカットとくす玉開披



完成した屋根付き岸壁



根室港花咲港区



さんまの水揚げ状況

離島・沿岸をつなぐ「命のみなとネットワーク」 ～天売島で海上輸送訓練を実施～

北海道開発局 留萌開発建設部

国土交通省では災害時の陸路分断等を想定し、“みなと”の機能を最大限活用した海上輸送による救助・救援や物資輸送等の災害対応支援を行うための、物流・人流ネットワーク「命のみなとネットワーク」の形成に向けた取組を進めています。

この取組の一環として、留萌開発建設部では令和7年10月1日(水)、留萌港湾事務所が保有する港湾業務艇「ゆりかもめ」を活用し、天売島への海上物資輸送訓練を実施しました。本訓練は、昨年実施した焼尻島への海上物資輸送訓練に引き続き、2回目の開催となります。

訓練では、留萌港より留萌開発建設部職員が「ゆりかもめ」に乗船し、羽幌港に向け出港。羽幌港到着後、羽幌町職員と連携し支援物資を船内に積み込み、沖合約30kmに位置する天売島まで海上輸送を実施しました。

天売港では、再び羽幌町職員と協力しながら支援物資の陸揚げ、および町車両による島内輸送を行ない、一連の輸送体制を確認しました。また、災害時の通信障害を想定した衛星携帯電話による通信訓練を行なうなど、情報伝達手段の有効性も検証しました。

留萌地方は南北約130km 東西約60kmに及ぶ細長い地形で、山地が多く道路が狭隘な地域です。このため、離島のみならず陸路が分断された際の孤立する集落への海上輸送も現実的な課題となります。今後もこうした訓練を重ねることで、地域の地理的特性に即した支援体制の構築と、管内各市町村との緊密な連携による「命のみなとネットワーク」の実効性向上を図ってまいります。

最後に、本訓練の実施にあたりご協力を賜りました羽幌町の皆様に心より感謝申し上げます。



留萌港湾事務所を出港する港湾業務艇(ゆりかもめ)



羽幌港で支援物資を積み込み



天売港で支援物資の積卸し



羽幌町の車両に支援物資を積み込み



衛星携帯電話を使用した通信訓練も実施

クルーズ船「飛鳥Ⅲ」が函館港へ初寄港しました

函館市 港湾空港部 港湾空港振興課

2025年7月22日(火)、郵船クルーズ株式会社の新造船「飛鳥Ⅲ」(52,265トン)が、函館港若松ふ頭に初めて寄港しました。今回のクルーズは「飛鳥Ⅲ」にとって記念すべき初航海であり、その最初の寄港地として函館を選んでいただいたことは、非常に光栄であり、大変思い出深い出来事となりました。

当日は晴天に恵まれ、まるで初寄港を祝うかのような天候の中、市民や乗船客が見守るなかで歓迎セレモニーが行われました。函館大学付属有斗高校マーチングバンド部による演奏を皮切りに、船長と函館市長との記念盾の交換、花束や地産品の贈呈、さらに函館名

物「いか踊り」の法被をプレゼントし、和やかな雰囲気になりました。

また、函館クルーズターミナル内には「おもてなしブース」を設け、函館および道南の特産品を振舞いました。出港の際には市立函館高校吹奏楽局による見送り演奏が行われ、隣接する函館市青函連絡船記念館「摩周丸」の甲板からは、市民の皆さまが記念ハンカチを振って見送り、感動的なひとときとなりました。

今後も、このご縁を大切にしながら、函館ならではの“おもてなし”を充実させてまいります。



函館港に初寄港した「飛鳥Ⅲ」



歓迎セレモニー



「摩周丸」からのお見送りの様子

Sea 級グルメ in あおもり 北海道のみなとオアシスが準優勝！

北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課

9月27日(土)～28日(日)の2日間、第16回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in あおもりが開催されました。

北海道からは室蘭市・苫小牧市・函館市・留萌市・稚内市・紋別市・利尻富士町・利尻町のみなとオアシスが参加するなど、全国から26のみなとオアシスが出展し、全国のご当地グルメに大勢の市民や観光客が舌鼓を打ちました。

来場者の投票により Sea 級グルメの順位が決定され、**みなとオアシスりしりとう・くつがた**の「**利尻タコカツ串**」が準優勝、**みなとオアシスもんべつ**の「**ホタテステーキ**」が3位入賞となりました。

投票結果は以下のとおりとなりました。

優勝：みなとオアシス沼津(沼津あじフライたるたるサンド)

準優勝：みなとオアシスりしりとう・くつがた(利尻タコカツ串)

第3位：みなとオアシスもんべつ(ホタテステーキ)

優秀賞：みなとオアシスみやこ(真崎焼き)

みなとオアシス広島(広島かき味噌焼きそば)

みなとオアシス境港(燻製境港サーモンを使った海鮮いぶし丼)

みなとオアシス和倉温泉、みなとオアシス七尾(かに汁)



準優勝：みなとオアシスりしりとう・くつがた



3位：みなとオアシスもんべつ



みなとオアシスりしりとう・くつがたの出展ブース



みなとオアシスもんべつの出展ブース



みなとオアシス室蘭の出展ブース



みなとオアシス苫小牧の出展ブース



みなとオアシス函館の出展ブース



みなとオアシスるもいの出展ブース



みなとオアシスわかないの出展ブース



みなとオアシスりしりとう・おしどまりの出展ブース

2日間で延べ62,000人が来場し、大盛況のうちに大会は幕を閉じました。今回の成果を弾みにSea級グルメの地元での普及やみなとオアシス間の交流など「み

なと」を通じた地域の活性化につながることが期待されます。

第23回(令和7年度)全国漁港漁場整備技術研究発表会について

北海道開発局 農業水産部 水産課

令和7年10月23日、24日に、第23回(令和7年度)全国漁港漁場整備技術研究発表会が札幌市内で開催されました。

全国漁港漁場整備技術研究発表会は、全国の漁港・漁場整備関係者を対象に、漁港及び漁場に関する技術の向上及び普及を目的として例年開催されており、23日に研究発表会、24日に現場研修(古平漁港・登別漁港)が行われました。

23日の研究発表会では、東海大学生物学部の櫻井泉教授による基調講演として「漁港水面を活用した増養殖について」が発表されました。全国的に漁業地域では、高齢化・過疎化の進行に伴って漁港利用者が減少し、漁港水面が遊休化するなど既存ストックの有効活用が課題となっており、遊休化した漁港を増養殖の場として有効活用できないか技術開発試験を実施した結果として、マナマコの間育成やアサリ垂下養殖に関する試験結果について発表されました。

また、開催地報告として「北海道における漁港整備」について発表があり、引き続き、能登半島地震からの災害復旧対策やICT技術・インフラ整備、流通拠点漁港機能強化、藻場・ブルーカーボン、海業振興といった漁港漁場整備に関する様々なテーマに関して発表されました。

北海道開発局からは、釧路開発建設部根室港湾事務所の中野喜秀技官より「落石漁港におけるICT技術を活用した施工の取り組みについて—工事現場におけるICT技術の活用推進—」が発表されました。

落石漁港落石地区では、岸壁の背後が急傾斜地となっており、落石等による漁業活動への支障が生じていました。その対策として土堤ポケットを整備していましたが、令和2年3月に急傾斜地の一部で崩落が発生したことで、土堤ポケット内に土砂が堆積し、崩落等の危険性のある土堤内での土砂撤去作業が必要

となりました。

危険を伴う土堤ポケット内の土砂の撤去作業を遠隔操作の無人バックホウ等のICT技術を活用することにより、施工の安全性向上や効率化を図った取り組みについて発表され、会場からは、無人バックホウの操作の習熟等に関する質問があり、参加者の興味をひいていました。

本発表会には、官公庁職員のほか、建設会社やコンサルタント会社の職員等も参加し、各発表について活発な質疑がなされ、参加者の関心の高さが窺えました。

23日の研究発表会の最後には、次回開催予定地である新潟県を代表して、新潟県農林水産部漁港課の高橋昌芳課長より挨拶があり閉会となりました。

24日の現場研修では、高度衛生管理型荷さばき所を有する漁港の現場視察として、古平漁港を視察するコースと、登別漁港やウポポイ(民族共生象徴空間)を視察するコースの二手に分かれて実施されました。

来年度も、更なる漁港及び漁場に関する技術の向上や普及に資する発表がなされることが期待されます。

最後になりますが、主催者である水産庁、北海道ならびに全国漁港漁場協会の皆様、また、発表者の皆様に対しまして、このような貴重な機会を設けていただいたことを厚く御礼申し上げます。



根室港湾事務所の中野技官による発表

第3号ふ頭及び周辺地区のにぎわい創出と小樽港観光船ターミナルの完成について

小樽市 産業港湾部 港湾室 港湾整備課

①第3号ふ頭及び周辺再開発計画の概要

小樽港第3号ふ頭は、昭和29年に基部側の第一期部分、昭和42年に先端側の第二期部分が整備され、製材の積出しふ頭として利用されていましたが、現在では、ロシア向けの中古車や水産品等を取扱う物流機能のほか、クルーズ拠点港としても重要な機能を担っています。

こうした時代に応じた機能の変化を踏まえ、第3号ふ頭及び周辺地区を港の景観や水辺を生かしたにぎわいある交流空間とすることにより、小樽観光の新たな魅力の創出を図り、市内経済の活性化につなげるため、第3号ふ頭及び周辺の将来像として平成26年6月に官民で連携して第3号ふ頭及び周辺再開発計画(以下、本再開発計画)を策定しました。



第3号ふ頭及び周辺地区

②第3号ふ頭及び周辺地域のにぎわいの創出について

本再開発計画における目指すべき姿として、「第3号ふ頭は国際旅客船ふ頭を核とする空間、その周辺は観光船乗り場と一体となった交流空間として、第3号ふ頭及び周辺地区全体をにぎわいある国際交流空間とする」としています。

第3号ふ頭では、国直轄事業として平成26年度から14万トン級のクルーズ船に対応する大型クルーズ船対応岸壁の整備や、港湾管理者事業としてクルーズターミナル等の整備を進め、令和6年4月に供用開始となりました。

また、第3号ふ頭周辺では、令和6年3月に、民間の観光商業施設である「小樽国際インフォメーションセンター」がオープンし、この観光商業施設を代表施設、大型クルーズ船対応岸壁等を構成施設とした「みなとオアシス小樽」が令和6年4月に登録認定を受け、さ



クルーズ船(ダイヤモンド・プリンセス)と観光船ターミナル

らなるにぎわいの創出が期待されることです。

今年度は、第3号ふ頭基部緑地の年度内完成を目標に整備しているところであり、第3号ふ頭及び周辺再開発事業は、令和8年度の完成を目標に進めています。

③小樽港観光船ターミナルの概要とにぎわいの創出について

令和7年8月1日、新たな施設として「小樽港観光船ターミナル」の供用を開始しました。

外観は、屋根先端を緩やかにせり上げることで、未来に向かって大きく発展する小樽の姿を表現した、周辺のシンボリックな建物となっています。

観光船ターミナルの1階には、小樽港内を発着する観光船の券売所や待合所、24時間利用可能なトイレを配置し、2階には、約190m²の多目的ホールや海を眺めながら休憩できるオープンテラスを配置し、観光船の乗客のみならず、市民や観光客が交流できるスペースとしました。

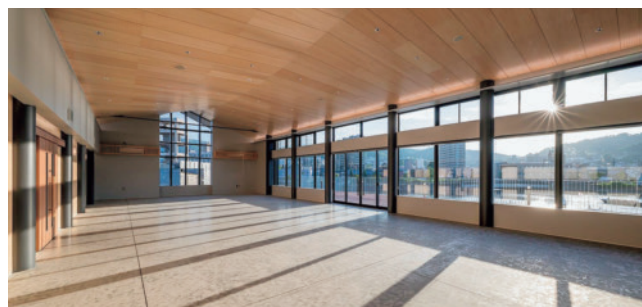
本年8月には、観光船ターミナルのお披露目と昨年度にいただいたポート・オブ・ザ・イヤー2024はじめ、港湾関連三賞の受賞を記念した事業を行いました。帆船「海王丸」の一般公開やキッチンカーイベント等を



観光船ターミナル外観

開催し、多くの来場者にお越しいただいたところです。

令和8年度には、港内で分散している観光船の発着場となる小型船だまりの整備を予定しており、乗船客の利便性や快適性が高まるとともに、更なるにぎわい創出が図られることを期待しています。



観光船ターミナル「多目的ホール」



帆船「海王丸」一般公開

④おわりに

第3号ふ頭及び周辺地区は、昭和42年から現在に至るまで、毎年7月末に小樽市最大の祭りである「おたる潮まつり」の会場にもなっており、令和7年度には、

約85万人の来場者が訪れました。そのほか、さまざまなイベントの開催も可能であり、市内外の来場者によるにぎわいが創出されています。

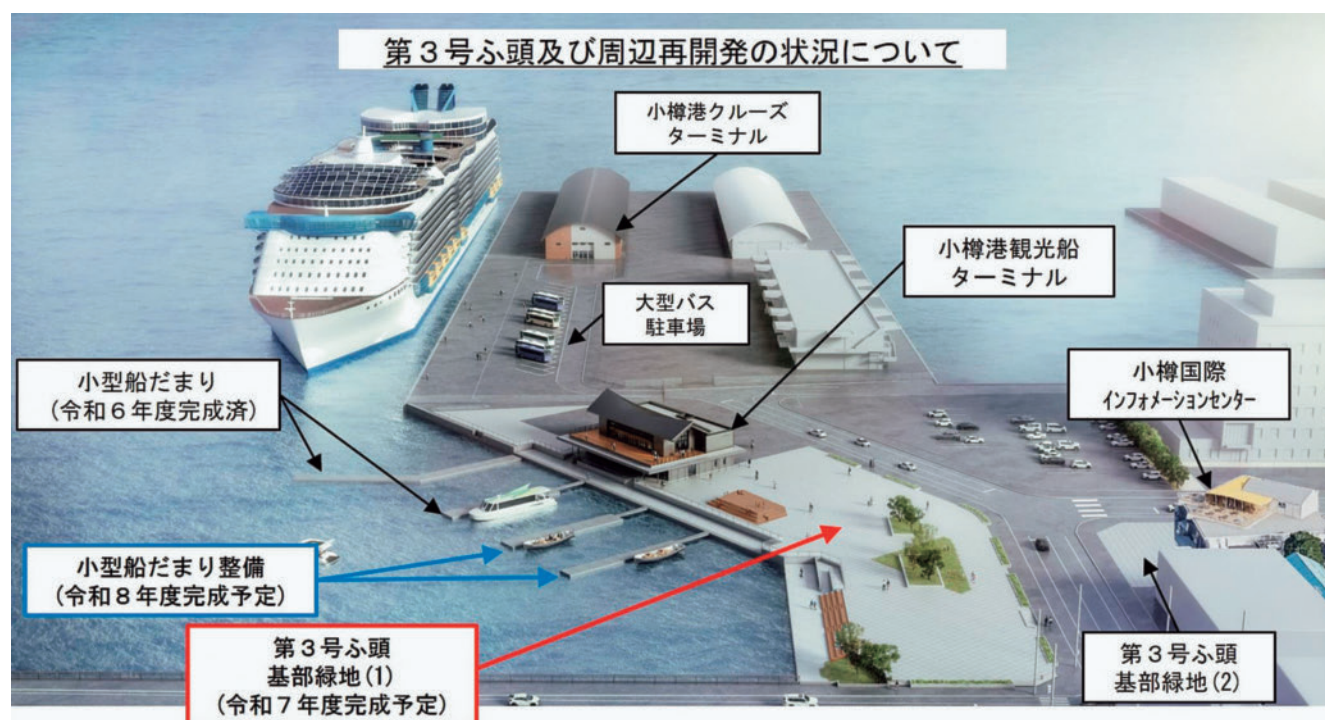
今後も、第3号ふ頭及び周辺地区を「港を巷に」をコンセプトとして、「みなとオアシス小樽」の整備を行うとともに、市民や観光客等の回遊を促すソフト面の充実など、みなと観光の関連消費を域内経済に波及させる取り組みを官民で連携しながら進めてまいります。



おたる潮まつりの様子



夜間の観光船ターミナル



「7Airports Fes 2025」、「空の日まつり 2025」 北海道 7 空港での開催

北海道エアポート株式会社 空港計画部 空港計画課

北海道エアポート株式会社(以下、HAP)は北海道 7 空港(新千歳・稚内・釧路・函館・旭川・帯広・女満別)の運営を行っております。この度、初めて「港のたより」に寄稿させていただきます。

さて、HAP では 7/27～10/5 までの期間、航空への関心を深め空港に親しんでいただけるよう、「7Airports Fes 2025」、「空の日まつり 2025」を開催しました。

「7Airports Fes 2025」では、7 空港一体となり、空港内店舗と連動した「7 空港大抽選祭」に加え、道内空港では初めてとなるガンダムを通じてリサイクルへの関心を高める活動「ガンダム R 作戦 in 『7Airports

Fes 2025』」の実施、「旅を描こう。空旅グランプリ」の作品展示などを行いました。

8/30 に開催された新千歳空港での「空の日」イベントでは、事前応募制の「飛行機との綱引き大会」や「飛行機撮影会」、航空灯火のジャンク品販売、新千歳空港除雪隊「ベアセルク」のオリジナルグッズ“初”販売などのコンテンツを開催しました。

新千歳空港の「飛行機との綱引き大会」では、小学生らおよそ 80 人が、滑走路上で 70 トンもの旅客機を動かし、驚きの声が上がりました。普段立ち入る事のできない場所での貴重な経験となったようです。

応募用紙 『あなたが思い描く理想の空旅』をテーマに、計画的でワクワクするような旅行プランをお書きください。

※道内空港にいずれかの実在する路線ダイヤを利用した旅行プランとしてください。
※道内空港にはエアラインのホームページまたは道内 7 空港のホームページをご覧ください。各空港のホームページへのリンク先を空旅グランプリホームページに掲載しています。

エントリー部門：
一般部門 □ 小・中学生部門 ☒

タイトル：
**日本縦断！
コアラ全制覇の旅**

旅の目的・旅への思い：
私はコアラが大好きです。日本にはコアラを
知合っている動物園が7つあります。
それすべてを私の手よく見る旅を考えました。

ニックネーム：
のんちゃん

（特にあずちゃん様様！）

9/22(月) 1日目
出発 9月22日 7時55分
航空会社 JAL
便名 JAL500, JAL645
新千歳 空港発
鹿児島 空港着

5:50 JR鹿児島駅
6:28 新千歳空港
7:55 CTS→HND JAL500
9:35 羽田空港
10:00 HND→KQT JAL645
11:55 鹿児島空港
12:44 グラシー・移動
17:00 五位野駅
17:05 鹿児島中央駅
17:43 リムジンバス移動
18:40 鹿児島空港
20:05 KQT→UKB SKY18

9/23(火) 2日目
8:30 ホテル出発
8:40 地下鉄三宮駅
9:00 王子動物園
12:52 地下鉄三宮駅
13:05 神保町駅
14:16 イングランドの丘
18:55 新神戸駅
19:16 新神戸のぞみ
20:19 名古屋駅
駅近くで宿泊

9/24(水) 3日目
8:30 ホテル出発
8:51 名古屋駅
9:10 東山動物園
13:04 名古屋駅
13:20 新幹線のぞみ
14:30 新横浜駅
15:26 金沢動物園
15:41 金沢文庫駅
17:11 金沢動物園
20:15 金沢動物園
22:57 金沢動物園

9/25(木) 4日目
8:30 ホテル出発
8:42 金沢文庫駅
8:59 新横浜駅
9:38 新横浜駅
10:23 品川駅
10:37 品川駅
コアラ5頭を見る！

12:51 立川北駅
13:09 西国分寺駅
13:43 朝霞台駅
14:14 高坂駅
14:34 埼玉県立自然
16:54 品川駅
18:02 池袋駅
19:05 リムジンバス移動
20:15 羽田空港
21:50 新千歳空港
22:57 新千歳空港

9月25日 20時15分
航空会社 AIRDO
便名 AD99
羽田 空港発
新千歳 空港着 21:50
乗換の可能あり。

第 2 回空旅グランプリ 最優秀賞(小・中学生部門)「日本縦断！コアラ全制覇の旅」



新千歳空港「空の日」イベント
ジャンク品、ベアセルク
※オリジナルグッズの販売

※ベアセルクは HAP が道内 7 空港
除雪隊の愛称を募集し、新千歳空
港除雪隊キャラクターとして命名
されました。



新千歳空港「空の日」イベント 「飛行機との綱引き大会」、「飛行機撮影会」の様子

「海の日」 海事関係功労者大臣表彰 北海道開発局関係では 1 名・1 団体が受賞

北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課

国土交通省では、毎年「海の日」に、多年にわたり海事関係事業等に貢献された方々に対して大臣表彰を行っています。

今年の受賞者は 115 名・29 団体で、このうち北海道開発局関係では、多年にわたり「港湾建設事業の振興」に貢献された中田伸也氏(稚内市・株中田組 代表取締役)、多年にわたり岩内港及びその周辺において清掃活動に取り組み「港内等の環境美化」に貢献された岩内町の「若旺会」(会長 吉本正則氏)の 1 名・1 団体が受賞されました。

中田氏は、7 月 24 日(木)に国土交通省で行われた表彰式へ出席、若旺会の皆様は都合により欠席されたため、7 月 28 日(月)に北海道開発局において伝達式が行われました。

受賞された中田氏からは「今回の受賞に際し、これまでご指導いただいた発注官庁の皆様、港湾関連団体の皆様に感謝申し上げます。これからも業界の発展と、地域振興のために精進してまいります。今後とも、宜

しくお願い申し上げます。」、若旺会会長の吉本氏からは「今までの地道な活動が思いもよらず高い評価をいただき、会員一同にとりこの上ない喜びであります。この度の受賞を励みとして、更に地域及び港や海辺の環境美化保全に協力してまいります。」との受賞にあたってのお言葉をいただきました。



受賞された中田伸也様(左)と国土交通省安部港湾局長



受賞された「若旺会」の皆様(前列左から会務委員長の小熊信久様、会長の吉本正則様、北海道開発局佐々木港湾空港部長、副幹事長の佐々木徹様)

長年にわたる活動ありがとうございます

～港湾空港関係功労者表彰及び

海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰～

北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課

北海道開発局では、様々な団体と連携した港湾空港整備事業の効果的な推進を目的として、「北海道開発局港湾空港関係功労者表彰」及び「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」を実施しています。

今年度の「港湾空港関係功労者表彰」は、前苫小牧市長の故岩倉博文氏、前広尾町長の村瀬優氏、前釧路市長の蝦名大也氏、前松前町長の石山英雄氏、岩倉建設(株)代表取締役社長の鈴木泰至氏及び(株)正和興業代表取締役社長の辻和洋氏に、また「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」は、みなと街づくり女性ネットワーク・オホーツク(代表 竹内珠己氏)及

び(株)栗林商会(代表取締役社長 栗林和徳氏)に決定し、7月22日(火)に表彰式が執り行われました。

表彰式では、北海道開発局佐々木港湾空港部長から感謝状及び表彰状がそれぞれ授与され、その功績を讃えるとともに、改めて感謝の意を表する挨拶がありました。

各受賞者の皆様からは、港湾空港にまつわる思い出、企業活動や環境美化活動を進める上で心がけていることなどを交えながら、関係者の方々に対する謝辞等が述べられました。



受賞された方々(前列左から、栗林和徳様、辻和洋様、蝦名大也様、佐々木港湾空港部長、鈴木泰至様、竹内珠己様)

会員の表彰について

当センター団体会員が令和7年度北海道開発局優良工事等表彰及びi-con 奨励賞 2025 の港湾等部門において表彰されました。

令和7年度 北海道開発局優良工事等表彰(港湾等部門)

【工事】

表彰区分	推薦部局	工事名	受注業者名	技術者名
局長	釧路	羅臼漁港突堤建設その他工事	葵建設(株)	佐藤 祐介
	留萌	天塩港 航路浚渫その他工事	堀松・ハラダ 経常 JV	－
			堀松建設工業(株)	小川 泰弘
			ハラダ工業(株)	三上 晃太
部長	札幌	新千歳空港 美沢川函渠耐震補強その他工事	勇建設(株)	井田 直人
	函館	函館港西防波堤改良工事	(株)菅原組	澤谷 高広
	函館	森港道路建設工事	(株)高木組	大森 寛
	小樽	小樽港 北防波堤建設その他工事	近藤工業(株)	藤原 真一
	室蘭	苫小牧港西港区防波堤(東)改良工事	道南綜合土建(株)	三谷 高司
	釧路	十勝港外1港航路・泊地浚渫工事	萩原建設工業(株)	佐々木 修
	稚内	礼文西漁港西防波堤改良その他工事	藤建設(株)	岡本 俊輔

【業務】

表彰区分	推薦部局	業務名	受注業者名	技術者名
局長	函館	函館港外1港事業評価その他業務	北日本港湾コンサルタント(株)	市川 克己
	小樽	寿都漁港 基本設計その他業務	日本データーサービス(株)	東川 典裕
	釧路	釧路港漂砂対策その他検討業務	寒地センター・クマシロ 設計 JV	－
			(一社)寒地港湾空港技術研究センター	鳴海日出人
			(株)クマシロシステム設計	－
部長	室蘭	庶野漁港外2港施設整備検討その他業務	(株)アルファ水工コンサルタンツ	－
	室蘭	苫小牧港外1港施設整備検討業務	(株)クマシロシステム設計	佐藤 規之
	釧路	厚岸漁港外1港基本設計その他業務	北日本港湾コンサルタント(株)	近藤 直博
	網走	網走港 事業評価資料作成業務	北日本港湾コンサルタント(株)	合田 元清
	網走	紋別港 基本設計業務	日本データーサービス(株)	清水 敏明
	留萌	天塩港外4港 深淺測量その他業務	三洋テクノマリン(株)	西谷内明志
	稚内	宗谷港外1港岸壁整備検討業務	北日本港湾コンサルタント(株)	奈良 俊介
	稚内	東浦漁港外3港現況調査業務	(株)アルファ水工コンサルタンツ	氏井 健一

北海道開発局 i-con 奨励賞 2025(港湾等部門)

区分	推薦部局	工事・業務名	受注業者名
工事	小樽	石狩湾新港 -12m 岸壁工事	(株)吉本組
	留萌	苫前漁港 東防波堤補修その他工事	三協建設(株)
業務	室蘭	様似漁港外2港基本設計その他業務	(株)クマシロシステム設計



北海道と本州を結ぶフェリーは 10 の航路があり、大小 28 隻の船舶が物流の大動脈を担っているのはご存じでしょうか。航行距離が一番短いのは 40km (函館～大間) で、最も長いのは 1,330km (苫

小牧～仙台塩釜～名古屋) です。また、最も小さなフェリーは「大函丸」(1,912GT、函館～大間：津軽海峡フェリー) で、最も大きいのは「らいらっく」、「ゆうかり」(18,229GT、苫小牧～秋田～新潟～敦賀：新日本海フェリー) です(寒地港湾空港技術研究センターホームページ掲載「北海道の港湾 2024」引用)。

今年、新造・更新されたフェリーが就航しています。1 月 21 日と 7 月 15 日には苫小牧と大洗を結ぶ「さんふらわぴりか」、「さんふらわかむい」(15,600GT：商船三井さんふらわ) が就航し、LNG 燃料を使用した環境負荷低減型の船です。船体の前方の色は海と空の

美しい「青」をアクセントカラーとし、客室は少人数の個室だけで構成され、トラックドライバーの快適性向上も図られています。8 月 8 日に就航した室蘭と青森を結ぶ「ブルーグレイス」(8,900GT：津軽海峡フェリー) は展望浴場、バストイレ付個室やペット同伴客室などを備え、旅客の多様なニーズを反映しています。11 月 14 日に就航予定で小樽と舞鶴を結ぶ「けやき」(14,300GT：新日本海フェリー) は最新鋭の省エネ船型・減揺システムを採用し、露天風呂や様々なタイプの客室とともに、プロジェクションマッピングなどを鑑賞できる多目的のルームが用意されています。

クルーズ船による船旅が脚光を浴びていますが、客室や船内設備を充実した新造フェリーが増えつつありますので、フェリーによる身近な船旅を楽しんではいかがでしょうか。

さて、10 月 21 日に我が国憲政史上初めての女性首相による高市早苗内閣が発足しました。この「高市丸」が我々の明るい未来に向けて安全航海してくれるのを願うばかりです。

(T.N)

表紙の写真：①函館港全景 ②飛鳥Ⅲ寄港 ③クルーズ船見送り ④高校生通訳ボランティア

函館港は、北海道南西部・渡島半島の南端に位置し、太平洋と日本海を結ぶ津軽海峡に面した天然の良港です。室町時代前期頃から本州の商船が利用していた歴史を持ち、安政 6 年(1859 年)の修好通商条約締結により、横浜・長崎と並び、我が国最初の外国貿易港として開港しました。以来、函館港は「海の玄関口」として、本州との連絡や物流の拠点として発展を遂げてきました。

函館港が位置する函館市は、道南地域の中核都市

として重要な役割を担っており、市の特色を活かした「函館国際水産・海洋都市構想」を掲げ、平成 26 年には弁天地区岸壁(水深 6.5 メートル)の一部完成に伴い、「函館市国際水産・海洋総合研究センター」が開業しました。また、流通の円滑化を図るため整備を進めていた臨港道路は、平成 28 年度に全線が開通し、港町ふ頭では平成 14 年に岸壁(水深 14 メートル)、平成 16 年に岸壁(水深 12 メートル)が供用しました。さらには、災害時における緊急物資輸送拠点としての機能強化を図るため、北ふ頭地区耐震強化岸壁が平成 28 年に完成し、これにあわせて、函館市では港湾 BCP(事業継続計画)を策定しました。若松地区では、中心市街地の活性化に寄与する大型クルーズ船の受入環境整備を目的として、令和 4 年 8 月に完成した「函館クルーズターミナル」を含む若松地区旅客船ふ頭が令和 5 年より供用を開始しています。

これらの整備により、地震などの災害対応力の強化を図るとともに、函館の豊かな観光資源を活かした国際観光都市と一体となった“みなとづくり”を推進しています。



港のたより 【Vol.150】 2025 年 12 月 10 日

一般社団法人 寒地港湾空港技術研究センター

〒001-0011 札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2 番 17 号 セントラル札幌北ビル 5 階
TEL(011)747-1688 FAX(011)747-0146 <https://www.kanchi.or.jp>

